

安全・安心で楽しいまち東広島

西条小学校 五年 阪口 史龍

ぼくが思いうかべる未来の東広島は「安全

・安心で楽しいまち東広島」です。ぼくは小

学校入学と同時に愛知県から東広島に引っ越

してきましたが、東広島はとても住みやすく

て気に入っています。しかし、ぼくが引っ越

してくる前、大雨で大変な被害があったと知

りました。そこでぼくは、東広島が安全でみ

んなが安心してくらせるまちになるための提

案をします。

東広島はこれまで、西日本豪雨や芸予地震

などでたくさんの方が被害が出ました。このよう

な災害でもたくさんの方の命を救うことができる

ように、避難所をたくさん作ることが必要だ

と思います。今でも小学校や公民館などが避

難所として利用されますが、災害が起こりそ

うなときにだけ開設されます。お年寄りや体

の不自由な人は、そこに行くのも難しいこと

があります。そこでぼくは、安全な地域に、

ふだんから暮らすことができる防災パークを作
ることを提案します。ふつうのときも暮ら
しやすいようにスロープやエレベーターを付
けます。災害が起こっても安心して暮らせる
ように水や食料を保存する倉庫も作ります。
そして、若い人やぼくたち小学生も楽しく暮
らせるように、レクリエーション施設も作り
ます。災害時には安心して暮らせる上、ふだ
んは楽しんで暮らせるのです。最近、夏はと
ても暑く、冬はとても寒いので、電気を起こ
せるように水力や風力などの再生可能エネル
ギーを使った発電所も作り、災害時でも電気
を使えるようにします。これでエアコンも使
え快適です。

それから、ただ災害に備えるだけでなく、
防災パークの中に研究施設を作ります。大学
や企業の研究所にその町に来てもらい、地震
や天気の予測の研究、災害に強い建物の研究
災害時でも利用できる乗り物の研究などをし
てもらいます。また、研究者だけが研究をす

るのではなく、市民も、災害のことを正しく知り、防災活動に参加することも大切だと思います。だから、いつでも防災体験ができる体験館も作ります。そして定期的に防災訓練をして、町全体で災害に備え、災害ゼロを実現できるようにしたいです。

防災パークだけが災害ゼロではだめです。東広島市が災害ゼロになるように、みんなに防災パークに来てもらい、防災について勉強してもらう必要があります。そのためにもレクリエーション施設は絶対に必要です。今、東広島でぼくたち小学生が楽しめる施設はあまり多くありません。公園やアスレチック、プール、遊園地、運動場などを作ります。小学生は無料で利用でき、大人も東広島に住んでいたり、働いていたりしたら、一回百円で利用できるようにします。遊びに来た人には防災体験館にも来てもらいます。楽しむことも防災の勉強もできて一石二鳥です。最後に、防災パークには病院も作ります。

病院があれば、万が一災害でけがをしても治療してもらうことができず。ふだんはお年寄りや体の不自由な人が利用できません。

このような防災パークがあれば、東広島は災害ゼロが実現でき、また他のまちの人たちもレクリエーション施設や防災体験館に訪れてくれて、まちが元気になるし、他のまちにも防災が広まれば良いと思います。